

拠出金名: 国際連合社会問題基金(国際連合障害者基金)

国際機関等名	国連経済社会局 (英文名称・略称) United Nations Department of Economic and Social Affairs (DESA)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	その他
所轄官庁担当局課名	外務省総合外交政策局人権人道課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レート		
平成18年度	5,694	51		1\$ =111 円	(2006年)23.02	100
平成17年度	5,489	51		1\$ =107 円	(2005年)18.40	100
平成16年度	5,940	54		1\$ =110 円	(2004年)18.40	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	国際機関等の財政 (2006年度決算)		
1位	日本	51,300	23.0	当該年度の収入 1,579,470ドル		
2位	デンマーク	34,291	15.4	当該年度の支出 668,929ドル		
3位	イスラエル	27,000	12.1	次年度への繰越 910,541ドル		
4位	アイルランド	25,174	11.3	会計検査機関名		
5位	メキシコ	20,000	9.0	国連会計検査委員会 (UN Board of Auditors)		
上記の率及び順位は2006年のもの				(現在の構成員の出身国: 南ア、仏、フィリピン)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
世界には現在約6億人の障害者があり、その大部分は途上国に在住している。障害の予防、リハビリテーション及び機会均等促進等について、先進国・途上国間及び途上国間の技術及び専門知識の移転の促進等を主な事業内容とする本件基金に拠出することにより、我が国は障害者分野での国連の活動に対し、引き続き協力・貢献を行っていく必要がある。 合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価 (1) 我が国は、国連マネジメント改革を推進し、各分野で積極的な提案を行い、審議に主導的な役割を果たしてきたところ、引き続き同改革を積極的に推進していく考え。 (2) 作業合理化の観点から国連全体として各種基金の統合を促進する一環として、DESAにおいて、「国連障害者基金」を含む社会開発分野の5つの基金を単一の「社会開発基金」として統合する方向で現在も検討中。						
邦人職員数うち 幹部以上(注2)	13人 うち 1人	当該機関(DESA)の職員 数及び邦人職員が職員全 体にしめる率(注3)		274人 4.7%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
経済社会局 水、自然資源、 小島嶼国開発課インター・ リージョナル・アドバイザー		廣木謙三				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
(1) 国連代表部内に「国連邦人職員増強・支援委員会」を設置し、邦人職員の採用、働きかけ、フォローアップを強化。(2) 2000年以降、国連事務局等より邦人職員の採用を目的として、面接等の他の邦人職員増強に関する広報活動を行う採用ミッションの訪日を受け入れ。(3) 国連職員採用競争試験(若手職員を対象)合格者増に向け応募促進と実施支援を今後も引き続き実施。						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。

(注2) 公平な地理的配分の原則に服するポスト以外を含む。

(注3) 公平な地理的配分の原則に服するポスト。2007年6月現在。